

## 第16回定期大会開催!

反彈圧! リニア中央新幹線構想反対!

「たしろ選」で培った組織力を背景に組織拡大を断固実現しよう!!

7月11日、新幹線関西地方本部は吹田市民会館において、第16回定期大会を開催しました。議長団に瀧代議員と細田代議員を選出して議事が進められました。船出執行委員長のあいさつに続き、多くの来賓のあいさつを受けました。その後、運動方針(案)を提案し、地方本部結成15年を迎え、初代委員長の舟山さんより特別講演を受けました。質疑では11名の代議員が発言を行い、執行部による答弁、本部の感想を受け湊書記長が総括答弁を行いました。その後、運動方針(案)が全体で承認され、大会宣言(案)を採択、最後に新小林委員長の団結ガンバローで大会を終了しました。

今大会で船出委員長、小谷執行委員、島津執行委員が退任されました。後任として小林委員長、熊沢執行委員、多田執行委員、中園執行委員を選出し、新執行体制を確立しました。



私たちは、1995年7月、新幹線関西地方本部を結成し、93年の石川・京力さんの不当解雇をはじめ、「蒲郡駅事件」「JR浦和電車区事件」などの弾圧を許さず広範に連帯をつくりだし闘ってきました。そして大弾圧に対するひとつの答えとして「たしろ選」の闘いを断固闘い抜いてきました。

そうした中、反動の嵐は熾烈さを極めてきました。最高裁判所は、7月7日蒲郡駅刑事事件裁判の上告棄却の決定を下しました。時あたかも参議院選挙投票日4日前で、選挙を意識したJR総連・JR東海労への組織破壊攻撃に他なりません。私たちは、会社と権力が一体となった大弾圧を絶対に許しません。私たちは「仲間の首を切られて黙ってられるか」を合い言葉に、反動の嵐に背を向けることなく職場から奮闘し果敢に闘ってきました。その闘いにより仲間の絆を確実に強くしてきました。これからも私たちの運動を職場と地域にさらに大きく発展させなければなりません。「たしろ選」で培った組織力を背景に組織拡大を実現するために、全組合員一丸となって断固闘って行きましょう。